

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年11月1日月曜日

## Oracle APEX 21.2新機能(8) - 新しいコンポーネントの配置方法

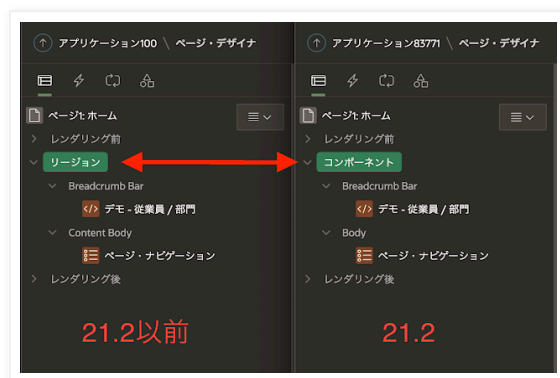
Oracle APEX 21.2より、コンポーネントの配置方法に大きな変更がありました。新しいコンポーネントの配置方法について、Oracle APEXの開発者のVincent MorneauさんがYouTubeに短い解説動画([Getting Started with the New Page Component Positions in Oracle APEX](#))を公開しています。

私が使った感じでは、変更点は以下の3つにまとめられると思います。

1. ページ・アイテムおよびボタンの配置にリージョンが不要になった。
2. 位置のオプションにAfter Logo、Before Navigation Bar、After Navigation Bar、Footerが追加された。
3. リージョンを配置する位置の名称が変更された。

### リージョンに依存しないページ・アイテムおよびボタンの配置

リージョンに依存せず、ボタンとページ・アイテムが配置できるようになりました。この変更に伴い、**レンダリング・ツリーの節リージョンがコンポーネントに変更されています**。



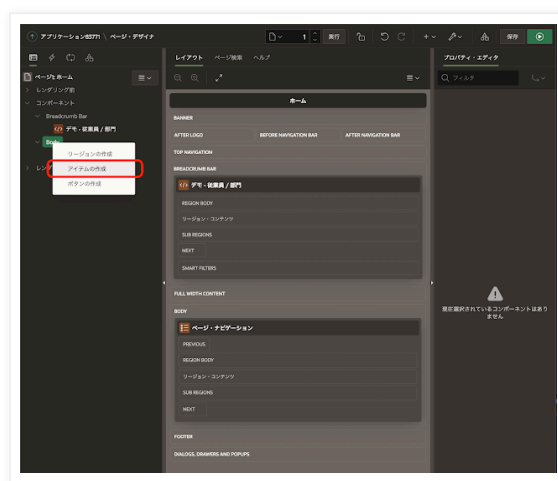
Oracle APEX 21.2以前で実行できるのは**リージョンの作成**だけでしたが、21.2からは**リージョンの作成、アイテムの作成およびボタンの作成**が実行できます。



以下のように、ページにページ・アイテムP1\_LINKとボタンB\_OPENを作成してみます。画面はサンプル・データセットのEMP/DEPTをインストールして作成したアプリケーションのホーム画面です。

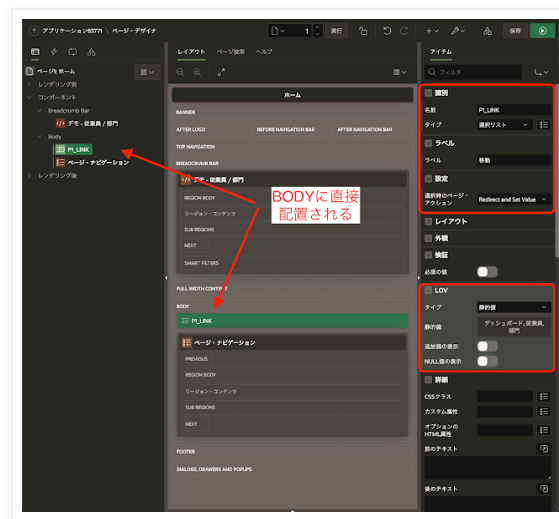


レンダリング・ツリーのBody(コンポーネント)からアイテムの作成を実行します。



作成されたページ・アイテムの識別の名前をP1\_LINKとします。タイプに選択リストを選びます。ラベルは移動、設定の選択時のページ・アクションにはRedirect and Set Valueを選択します。

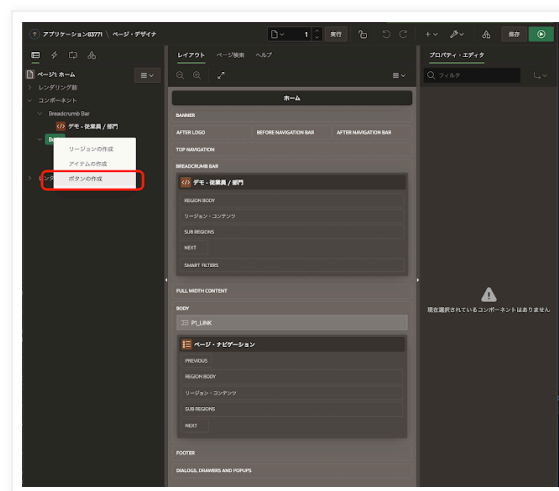
左ペインのレンダリング・ビューおよび中央ペインのレイアウト・ビューともに、ページ・アイテムP1\_LINKが直接配置（リージョンなし）されていることが確認できます。



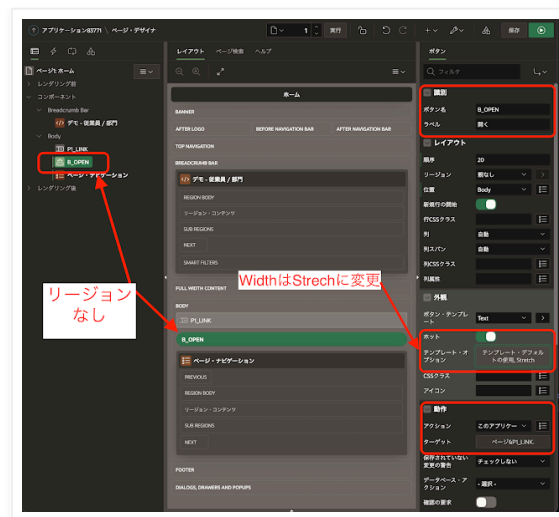
LOVのタイプは静的値、静的値の表示値と戻り値の組み合わせとして、ダッシュボードが2、従業員が3、部門が5の3行を設定します。追加値の表示はOFF、NULL値の表示もOFFにします。



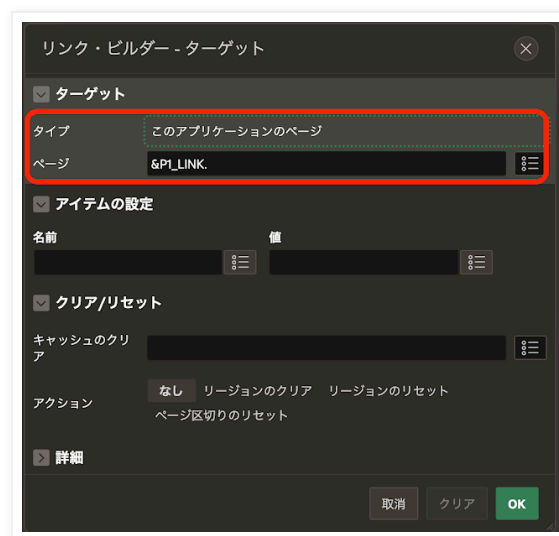
続けてボタンの作成を行います。これもBody(コンポーネント)から直接実行できます。



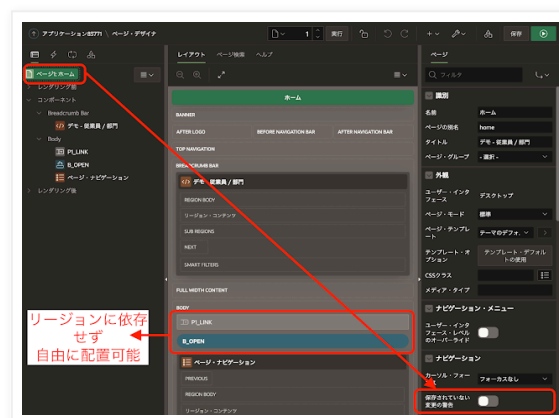
作成したボタンはページ・アイテムP1\_LINKの直下に配置します。識別のボタン名はB\_OPEN、ラベルは開くとします。外観のホットをON、テンプレート・オプションのWidthをStretchに変更します。



ボタンの動作のアクションはこのアプリケーションのページにリダイレクト、ページは&P1\_LINK. とします。

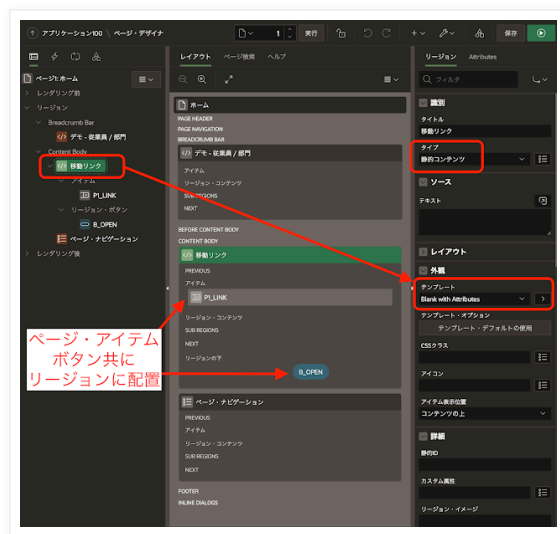


ページ・アイテムP1\_LINKで移動先のページを選択し、開くボタンをクリックするとページが移動します。ページ・プロパティの保存されていない変更の警告がONだと不要な警告がポップアップするので、OFFにします。



Oracle APEX 21.2以前では、ページ・アイテムやボタンは必ずリージョンに配置する必要があります。同じレイアウトでページ・アイテムやボタンを配置するには、そのためのリージョンを作成する必要があります。

以下の例ではページ・アイテムP1\_LINK、ボタンB\_OPENを配置するため、リージョン移動リンクをタイプを静的コンテンツとして作成しています。リージョンの存在を隠すために、外観のテンプレートにBlank with Attributesを選択しています。

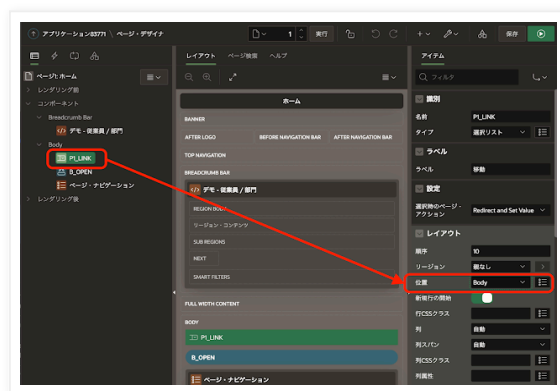


結果としては以下のように同じ画面が表示されますが、21.2の方が同じレイアウトの画面を作る作業が容易になっています。

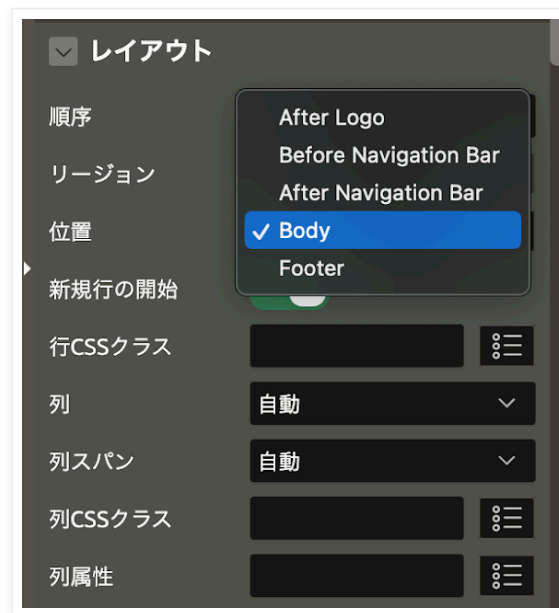


## 追加された位置

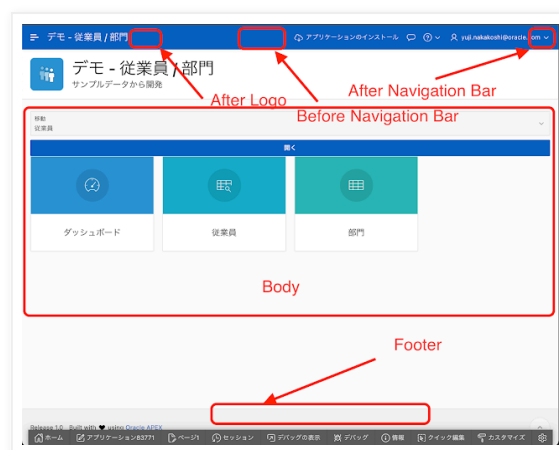
Oracle APEX 21.2よりページ・アイテムおよびボタンのレイアウトのプロパティとして、位置が追加されています。



位置として、After Logo、Before Navigation Bar、After Navigation Bar、Body、Footerを選択できます。



それぞれが指定している位置は以下です。これらの位置は、リージョンの外に配置しているページ・アイテムとボタンに対して選択可能です。リージョンに配置しているコンポーネントはリージョンの内部(**Region Body**)に配置されます。



ページ・アイテムP1\_LINKの位置をBefore Navigation Bar、ボタンB\_OPENの位置をAfter Navigation Barに変更します。ボタンについては外観のボタン・テンプレートをアイコン、アイコンはfa-external-linkに変更します。変更後の画面は以下になります。

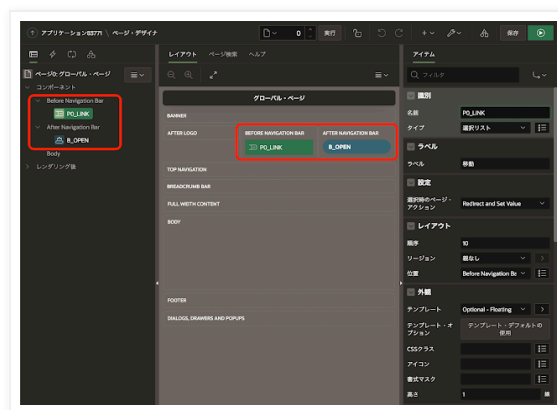


ページ・アイテムP1\_LINKの位置をFooter、ボタンB\_OPENの位置をAfter Logoに変更した画面は以下になります。

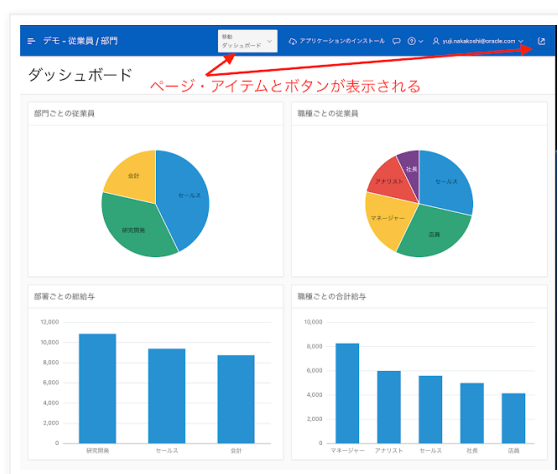


Oracle APEX 21.2以前で同様の位置にページ・アイテムやボタンを配置するには、ページ・テンプレートをカスタマイズする必要がありました。ページ・テンプレートをカスタマイズすると、Oracle APEXがバージョン・アップされる毎に新たに提供されるページ・テンプレートに同様のカスタマイズを適用する必要があります。Oracle APEX 21.2からはそのような工数は発生しません。

After Logoなどの位置へ配置するコンポーネントは、大抵はそれぞれのページ毎ではなく、ページ番号0のグローバル・ページに作成するでしょう。グローバル・ページにページ・アイテムPO\_LINK、ボタンB\_OPENを作成し、ページ番号1のコンポーネントは削除します。



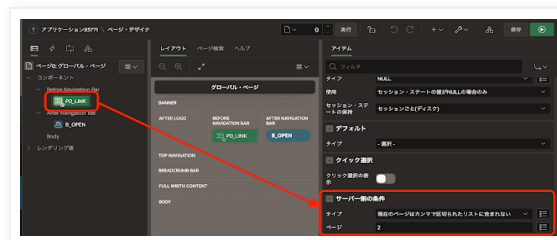
グローバル・ページにページ・アイテムとボタンを配置することにより、すべてのページに同じページ・アイテムとボタンが表示することができます。



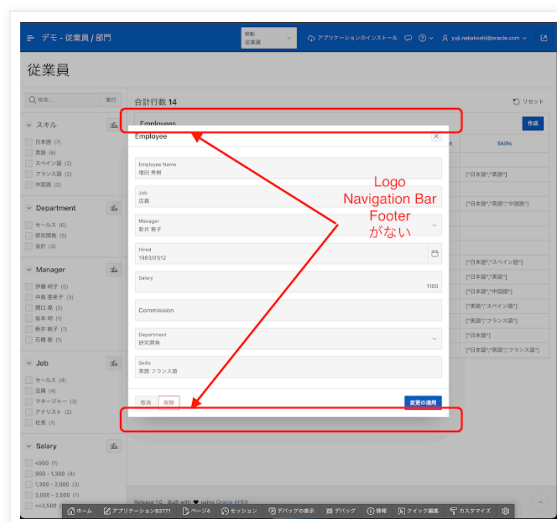
従業員 合計行数 14

Employee Name	Job	Manager	Hired	Salary	Commission	Department	Skills
佐藤 健	マネージャー	中島 寛子	19810608	2,650		会計	
関口 亮	マネージャー	中島 寛子	19810403	2,075		総務課	["日本語(得意)"]
伊藤 裕子	マネージャー	中島 寛子	19810501	2,850		セールス	
村上 義子	セールス	伊藤 裕子	19810326	1,600	300	セールス	["日本語(得意)"]
斎藤 大介	セールス	伊藤 裕子	19810322	1,250	000	セールス	
斎藤 大輔	セールス	伊藤 裕子	19810326	1,250	1400	セールス	
金子 寛夫	セールス	伊藤 裕子	19810308	1,500	0	セールス	
佐野 亮輔	店員	伊藤 裕子	19810203	950		セールス	["日本語(スベイン)"]
中島 健夫	店員	坂本 博	19820123	1,300		店員	["日本語(得意)"]
伊藤 裕子	アシスタント	関口 亮	19820209	3,000		総務課	["日本語(得意)"]
中島 寛	アシスタント	関口 亮	19810203	2,000		総務課	["英語(スペイン語)"]
関口 亮輔	店員	伊藤 裕子	19810312	1,100		総務課	["英語(フランス語)"]
中島 博	店員	佐藤 健	19801217	800		総務課	["日本語"]
中島 寛子	社長		19810117	5,000		会計	["日本語(得意)"]

コンポーネントを表示するページを限定するには、**サーバー側の条件**を設定します。**タイプ**として現在のページはカンマで区切られたリストに含まれる、または、現在のページはカンマで区切られたリストに含まれないを選択し、それぞれコンポーネントを表示するページ、または、表示しないページをカンマ区切りで指定します。



モーダル・ダイアログのページはAfter Logoといった表示位置がないので、これら位置に配置されたコンポーネントは表示されません。そのため、非表示の条件に含める必要はありません。

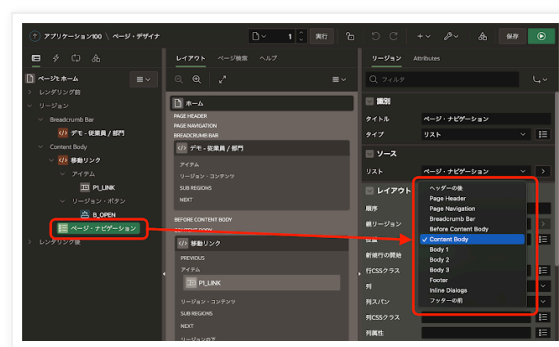


ページ・デザイナーでは、無効な位置[レンダリングされない]以下に、グローバル・ページのコンポーネントが配置されます。





- ヘッダーの前
- Page Header
- Page Navigation
- Breadcrumb Bar
- Before Content Body
- Content Body
- Body 1
- Body 2
- Body 3
- Footer
- Inline Dialogs
- フッターの前



Oracle APEX 21.2での位置の名称を21.2以前と対応づけると、以下になります。

Banner = Page Header

Top Navigation = Page Navigation

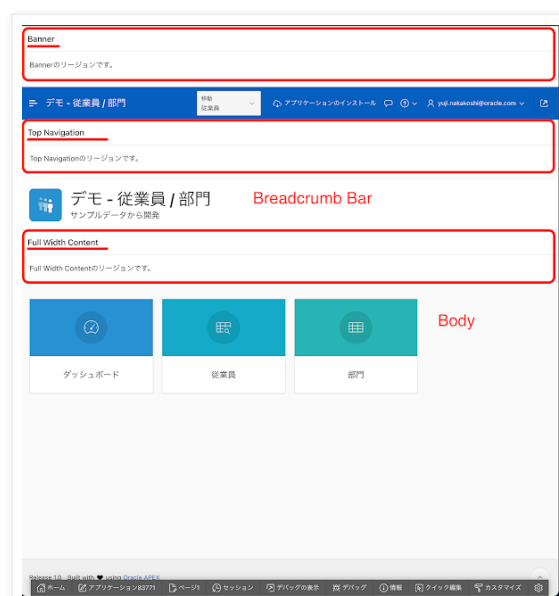
Breadcrumb Bar = Breadcrumb Bar

Full Width Content = Before Content Body

Body = Content Body, Body1, Body2, Body3

Dialogs, Drawers and Popups = Inline Dialogs

これらの位置を画面上で確認すると以下になります。



以上で新しいレイアウト・システムの説明は終了です。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

## 補足

新しくページ・アイテムやボタンを配置できるAfter Logo、Before Navigation Bar、After Navigation Barの位置はページ・テンプレートに埋め込まれています。このページ・テンプレートはOracle APEX 21.2に含まれています。

Oracle APEX 21.2のページ・テンプレート**Standard**の**ヘッダー**の定義は以下を含んでいます。

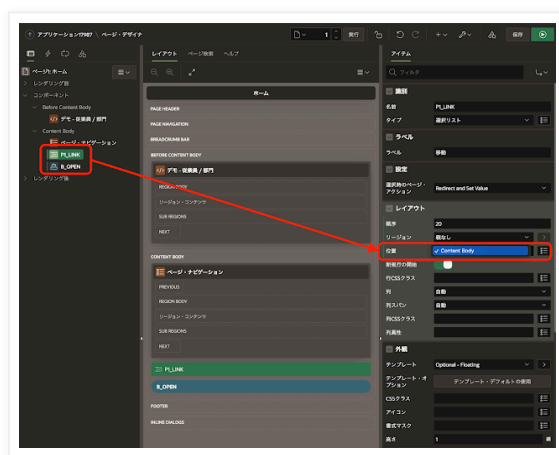
```
<div class="t-Header-logo">
  <a href="#HOME_LINK#" class="t-Header-logo-link">#LOGO#</a>
  #AFTER_LOGO#
</div>
<div class="t-Header-navBar">
  <div class="t-Header-navBar--start">#BEFORE_NAVIGATION_BAR#</div>
  <div class="t-Header-navBar--center">#NAVIGATION_BAR#</div>
  <div class="t-Header-navBar--end">#AFTER_NAVIGATION_BAR#</div>
</div>
```

21.1での定義は以下です。追加されたプレースホルダーはありません。

```
<div class="t-Header-logo">
  <a href="#HOME_LINK#" class="t-Header-logo-link">#LOGO#</a>
</div>
<div class="t-Header-navBar">#NAVIGATION_BAR#</div>
</div>
```

つまり、Oracle APEXを21.2へバージョンアップしても、既存のアプリケーションについてはテーマのリフレッシュを実施して、使用しているテンプレートを更新するまではAfter Logo、Before Navigation Bar、After Navigation Barへのコンポーネントの配置は行えません。

テーマをリフレッシュしなくても、リージョンの外にコンポーネントを配置することはできますが、その際に指定可能な**位置**は**Content Body**に制限されます。



完

Yuji N. 時刻: 16:51

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

#### 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.